

Ⅲ 国語「豊かな言葉の使い手になろう」(3組)

1 学習の概要

「話す・聞く力」は良好な人間関係を円滑に築くため、仕事などで役割を果たすためなど、私たちが生活していくうえで欠かせない重要な能力の一つです。しかし、子どもたちにとって「話す・聞く力」とは発表、スピーチなどのためとしか認識されていないことが多いのです。そこで、日常的なスピーチ活動や授業、他の学校生活において、日常生活に生かしていけるような「話す・聞く力」を高めていくことができる手立てを講じていくことにしました。

2 ねらい

- 「話す・聞く力」の重要性を知り、より高めていこうとすることができる。
- 日常生活に生かせるような「話す・聞く」技術や態度を身につけることができる。

3 取り組み

- (1) 「話す・聞く力」とは何かを考える。

まず、「話す・聞く力」は発表をしたり聞いたりするためだけでなく、生活していくうえで欠かせない能力であることを意識することから始めました。発表をゴールにしてしまうと、そこから先の本当に必要な実践的な力が身につけません。また、誰に伝えるかという目的意識を明確にすることで意欲的に話そう、伝えようという気持ちをより高められるようにしました。

- (2) スピーチ活動

次に、力をつけるためには毎日少しずつの積み重ねが必要と考えました。そこで日直が行うスピーチ活動を柱に据え、段階的にレベルアップが図れるようにしました。また、国語の各単元、他教科や学校生活のあらゆる場面において「話す・聞く力」を意識して行きました。

「スピーチメモ(原稿)」を活用し、話すことをまとめ、1分から2分程度のスピーチを行いました。この使い方に関しては二つの方法からやりやすい方を選ぶようにしました。一つはスピーチの設計図のように、箇条書きや矢印などを使い、文字通りメモとして使うやり方。もう一つは原稿として、話すままを書いていくやり方です。話すことが得意な児童にはメモとして使うやり方を推奨しました。この用紙は「はじめ」「なか1・なか2」「おわり」の三区分とし、わかりやすく伝えるための基本的な構成が身につけられるようになっています。また、「まず」などの「はじめる言葉」、「つぎに」などの「つなげる言葉」、「最後に」などの「まとめる言葉」を意識して使えるようにいくつか例示してあります。テーマは日直が一巡するたびに設定しました。季節や行事に合ったテーマを子どもたちの意見も取り入れながら決めました。最初は基本的な話す・聞くルールを覚えめました。まず、原稿を見ずに話すということ。「読む」ではなく「話す」からです。このことに関しては多くの子どもが初めからできていました。次に声の大きさ、話す速さ、姿勢、目線、表情、間のとり方などの基本的なことを確認しました。聞

はじめ	なか1	なか2	おわり
はじめに 皆さん、こんにちは。 今日は、スピーチの練習です。	つぎに 話す・聞く力は、とても大切です。	また 聞く力は、相手の気持ちを理解するために必要です。	最後に 皆さん、一緒に練習しましょう。

「スピーチメモ」(メモとして使用)

「スピーチメモ(原稿)」を活用し、話すことをまとめ、1分から2分程度のスピーチを行いました。この使い方に関しては二つの方法からやりやすい方を選ぶようにしました。一つはスピーチの設計図のように、箇条書きや矢印などを使い、文字通りメモとして使うやり方。もう一つは原稿として、話すままを書いていくやり方です。話すことが得意な児童にはメモとして使うやり方を推奨しました。この用紙は「はじめ」「なか1・なか2」「おわり」の三区分とし、わかりやすく伝えるための基本的な構成が身につけられるようになっています。また、「まず」などの「はじめる言葉」、「つぎに」などの「つなげる言葉」、「最後に」などの「まとめる言葉」を意識して使えるようにいくつか例示してあります。テーマは日直が一巡するたびに設定しました。季節や行事に合ったテーマを子どもたちの意見も取り入れながら決めました。最初は基本的な話す・聞くルールを覚えめました。まず、原稿を見ずに話すということ。「読む」ではなく「話す」からです。このことに関しては多くの子どもが初めからできていました。次に声の大きさ、話す速さ、姿勢、目線、表情、間のとり方などの基本的なことを確認しました。聞

A young boy with dark hair, wearing a dark blue long-sleeved shirt with a graphic, stands at the front of a classroom. He is holding a small object in his right hand. Behind him is a large green chalkboard. To the left of the chalkboard, there is a white shelf filled with various items, including books, papers, and a small white electronic device. In the foreground, the backs of several students' heads and shoulders are visible as they sit at their desks, facing the boy. The desks are wooden with metal frames. The overall setting is a typical elementary school classroom.

しずつ技術を身につけていきました。同時に子ども間で内容についての質問、回答を行ったり、

の質問, 回答を行ったり,

よりよいスピーチとなる

た。

実践的な「聞く力」を身に

な聞き方に挑戦しました。

ながらメモする方法。次

記録する方法。そして、

観点についてメモをする

に行う聞き方というように

う、多角的に力が身につく

びの持ち　　しがつてにき

を伴うという汗動を行い、

物語が伝えたかを確認し、

的に学ぶことができました。

手になるためには」

③	よく好きなスポーツはサッカー。2つはバスケットボールの夜7時から始まる。	1月日は、2月日は...と いっていたからよかった。 これから1月は目標に気が ついたほうがいいと思ふ。
④	秋と言えば勉強ばかり消しゴムについて調べた。おもしろいようにさせることができた。	実際に調べたことと 違いにはなせなかった。 初めて何を言うかが手 にできないからとても苦しかった。
○	ハロウィンはハリウッド少年がいろいろいけんにまきこまれていくはなし。	内容はよかったけど 「え」という音が多すぎた から話し方にも気を つけたほうがよくなかった。
○	休日はサウナをさしたりする。新しいビデオを買った土曜日の夜とあんなに面白い映画を観た。	「え」という音が多すぎた から聞き取れなかった。 聞いてほしいと思った。 思っているより、もう少しでいい。

「聞き取りメモ」(一部)